

平成 26 年 8 月 25 日～8 月 31 日までの全国の暑さ指数 (WBGT) の
観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について
(お知らせ) (平成 26 年度第 12 報)

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5 月 12 日(月)から情報提供を開始したところです。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約 150 地点について、過去 1 週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症による救急搬送者数との関係について、定期的に情報提供を行うことといたしました。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 先週(8月25日～8月31日)の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数 31℃以上(危険)の時間数(168時間中)

1. 石垣島(沖縄県)	42時間
2. 久米島(沖縄県)	36時間
3. 与那国島(沖縄県)	22時間
4. 南大東島(沖縄県)	20時間
5. 西表島(沖縄県)	17時間
6. 宮古島(沖縄県)	13時間
7. 名護(沖縄県)	8時間
8. 名瀬(鹿児島県)	6時間

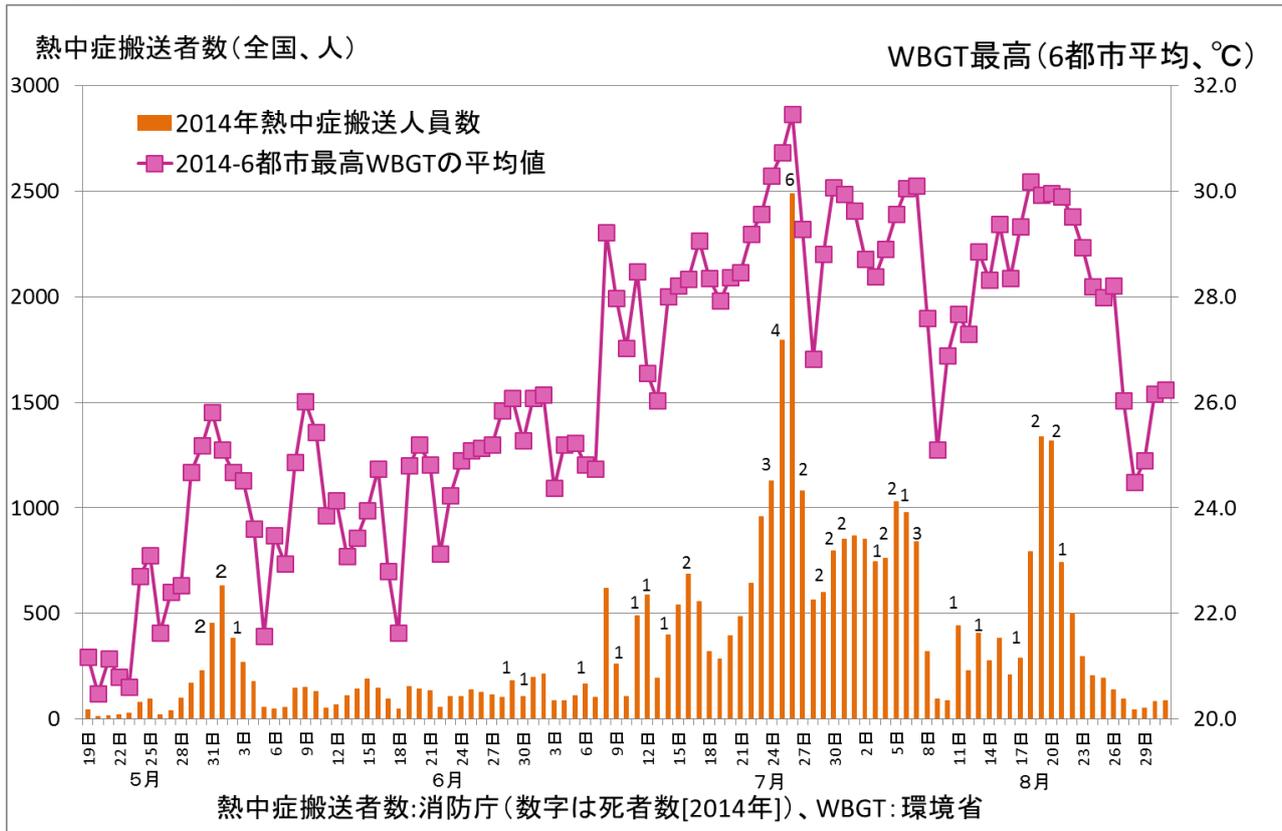
<参考>全国9都市の観測地点

札幌(北海道)	0時間
仙台(宮城県)	0時間
新潟(新潟県)	0時間
東京(東京都)	0時間
名古屋(愛知県)	1時間
大阪(大阪府)	0時間
広島(広島県)	0時間
福岡(福岡県)	0時間
鹿児島(鹿児島県)	0時間

- (注1) 暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。
(注2) 暑さ指数 31℃以上の時間数は、今回の調査では、石垣島の 42 時間が最多で、153 地点のうち 17 地点で暑さ指数 31℃以上の時間がありました。なお、暑さ指数 31℃以上とは、(公財)日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



- 6都市平均の日最高暑さ指数(WBGT)は、8月25日～8月31日までの期間は25～28℃でした。熱中症による救急搬送者数は、消防庁発表の速報によると43～193名(最多は8月25日)で、残暑が厳しかった前半は、やや高い水準となりました。
 - 昼間の日最高暑さ指数(WBGT)は、8月25日～8月31日までの期間、南西諸島では31℃前後で推移し、西日本では週の前半は28℃を上回りました。熱中症危険度の「厳重警戒」を示すWBGT28℃を超えた地点は14～78地点(全153地点中)で、南西諸島を除いて暑さが一段落しました。
 - 気象庁発表(9月4日11時時点)の週間天気予報では、最高気温・最低気温ともに、北日本から西日本にかけては平年並か平年より低い見込みですが、期間の前半には平年より高い日もある見込みです。また、沖縄・奄美は平年より高く、平年よりかなり高い所もある見込みです。
 - 南西諸島では、引き続き熱中症に警戒が必要な暑さが続きます。その他の地方でも、先週に比べて晴れる日が多くなり気温が上がります。屋外活動など普段と異なる行動をとる際には、無理をせず、こまめな水分補給と休息につとめてください。
- (注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。
6都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡